

いま翻訳者たちが 薦める一冊 憎しみの時代を超える 言葉の力



平成を終えて新しい時代を迎えたいまこそ、未来のために過去からの声を聴いてみませんか？
ゆがんだ価値観を押しつけられながらも憎悪と偏見に屈しなかった人々、不断の努力で真実を追求した人々。彼らの知性と勇気を伝える言葉は、現代を生きる私たちの力強い羅針盤です。

企画／野口百合子（翻訳家）

※フェア内容紹介ペーパーです。ご自由にお持ちください。

（出版社名五十音順＜書名五十音順）

- ※店頭在庫がない場合はお取り寄せが可能です。
- 『隠れナチを探し出せ』 (A・ナコルスキ、島村浩子訳、亜紀書房) **N**
 - 『13歳のホロコースト』 (E・スローニム、那波かおり訳、亜紀書房) **N**
 - 『1924』 (P・R・レンジ、菅野榮章訳、亜紀書房) **N**
 - 『ユタヤ人を救った動物園』 (D・アツカーマン、青木玲訳、亜紀書房) **N**
 - 『4歳の僕はこうしてアウシュヴィッツから生還した』 (M・ボーンスタイン&D・B・ホリンスタート、森内薫訳、NHK出版) **N**
 - 『アウシュヴィッツの図書係』 (A・G・イトウルベ、小原京子訳、集英社) **F**
 - 『イシナの子供たち』 (T・J・マツエホ、羽田詩津子訳、東京創元社) **N**
 - 『コートネーム・ヴェリチキ』 (E・ウエイン、吉澤康子訳、東京創元社) **F**
 - 『パールとスターシャ』 (A・コナー、野口百合子訳、東京創元社) **F**
 - 『ローズ・ブスターフアリア』 (E・ウエイン、吉澤康子訳、東京創元社) **F**
 - 『アメリカの汚名』 (R・リーヴス、園部哲訳、白水社) **N**
 - 『レトラの裁判官フライスラー』 (H・オルトナー、須藤正美訳、白水社) **N**
 - 『あのころ、天皇は神だった』 (J・オオツカ、小竹由美子訳、ワイルムアート社) **F**
 - 『片手の郵便配達人』 (G・パウゼヴァンク、高田ゆみ子訳、みすず書房) **F**
 - 『人類の星の時間』 (S・ツヴァイク、片山敏彦訳、みすず書房) **F**
 - 『他者の苦痛へのまなざし』 (S・ソントク、北條文緒訳、みすず書房) **N**
 - 『夜と霧 新版』 (V・E・ワラントル、池田香代子訳、みすず書房) **N**

フェア企画者からひとこと

『パールとスターシャ』を読んで、この素晴らしい作品をもっと多くの方に読んでいただけたらと、ふと思いついたフェアです。
果たして実現するのだろうかと、ドキドキしながらやってみたら、皆様の温かいご協力により、なんとなんと、実現できました！

野口百合子（翻訳家）

野口百合子 のぐちゆりこ

神奈川県出身。東京外国語大学英米語学科卒。出版社勤務を経て翻訳家に。訳書にフリードマン『もう年はとれない』『もう過去はいらない』、ボックス『鷹の王』、コナー『パールとスターシャ』など。

■ フェア窓口

株式会社 東京創元社

〒162-0814

東京都新宿区新小川町1-5

TEL : 03-3268-8231 (営業直通)

翻訳者推薦コメント

ナチスと関係した国はどのようにして歴史と真摯に向き合う方向に転じたのか。今の日本の雰囲気疑問を感じている方にぜひ。

島村浩子

A・ナゴルスキ『隠れナチを探し出せ』亜紀書房

生きた証すら残せなかった子らのために、未来のために、記憶の底の少女エヴァが語りはじめます。絶滅収容所を生き延びた女性の回顧録。

那波かおり

E・スローニム『13歳のホロコースト』亜紀書房

この時期にヒトラーは「民主主義はジョークだ」と言っています。その後起きたことは誰もが知る通り。民主主義のこれからについても考えさせられる一冊です。

菅野楽章

P・R・レンジ『1924』亜紀書房

第二次世界大戦下における市井の人々の、勇気と葛藤、愛と友情、信仰と絶望、生きるための知恵と計略の物語です。

青木玲

D・アッカーマン『ユダヤ人を救った動物園』亜紀書房

4歳で絶滅収容所から生還した著者が、その事実を70年後に明らかにした理由とは？ フェイクニュースの時代にこそ読んでほしい一冊です。

森内薫

M・ボーンスタイン&D・B・ホリンスタート『4歳の僕はこうしてアウシュヴィッツから生還した』NHK出版

「本を読むことは、汽車に乗ってバカンスにでかけるようなもの」本の魔法に助けられてホロコーストを生き抜いた少女の物語です。

小原京子

A・G・イトウルベ『アウシュヴィッツの図書係』集英社

ナチスの迫害に屈しなかったイレナを中心とする勇敢な人々の姿は胸を打つ。人間の尊厳について改めて考えさせてくれる本だと思う。

羽田詩津子

T・J・マツェオ『イレナの子供たち』東京創元社

片やスパイ、片や飛行士として、ナチ占領下のフランスへ潜入した、2人の若い娘たち。謎でつづる、その使命と友情の物語。

吉澤康子

E・ウェイン『コードネーム・ヴェリティ』東京創元社

子供たちの豊かな想像力、信じがたいほどの強さが、収容所の闇を突き抜けて私たちを照らす。そして希望と勇気をくれる。

野口百合子

A・コナー『パールとスターシャ』東京創元社

苛酷なナチ強制収容所に入れられた18歳のローズ。いかにして生き延び、脱出したのか。希望あふれる結末に胸が熱くなる。

吉澤康子

E・ウェイン『ローズ・アンダーファイア』東京創元社

差別が憲法をねじまげ、憲法が差別をくみしきにかかる移民大国アメリカで、翻弄された日系人の迎合と反骨。

園部哲

R・リーヴス『アメリカの汚名』白水社

ナチス人民法廷長官の評伝。司法が草の根の批判を封殺する道具に墮していく経緯と戦後ドイツの過去との取組みを静かな怒りとともに描く。

須藤正美

H・オルトナー『ヒトラーの裁判官フライスラー』白水社

日常を奪われ砂漠に収容されたある日系人一家のこの小さな物語を、元号が変わる年にぜひ噛みしめていただきたい。

小竹由美子

J・オオツカ『あゝころ、天皇は神だった』

フィルムアート社

静かで淡々とした日々。戦場は遠い。そこへ非日常と狂気が顔を覗かせ、まさかの結末へ。読者は一撃で目を覚まされる。

高田ゆみ子

G・パウゼヴァング『片手の郵便配達人』みすず書房

ツヴァイクは友情の巨匠。ヘルマン・ヘッセツヴァイク自身の「星の時間」は友情という媒体の中にかがやいた。

片山敏彦

S・ツヴァイク『人類の星の時間』みすず書房

他者の苦痛の傍観者でしかない者はせめて苦痛の映像を自分にまわりつかせよう——映像の現代的意味を問いかける本。

北條文緒

S・ソントグ『他者の苦痛へのまなざし』みすず書房

フラッシュフォワード。未来が描けず絶望しかない状態のことです。収容所がまさにそれ。そんななかでも立ち上がる精神がある。その奇跡をあなたのものにしてください。

池田香代子

V・E・フランクル『夜と霧 新版』みすず書房